

# 三春ダム



多くの皆様ご協力により、1998年3月に完成した三春ダムは、2018年に20周年という、ひとつの節目を超えました。

この23年で、三春ダムの防災操作(洪水調節)は計35回にのぼり、ダム下流の大滝根川、阿武隈川沿川の洪水被害軽減に貢献してきました。

ダムからの農業用水の補給、上水道・工業用水の供給により、地域住民の生活や産業の発展にも寄与してまいりました。

三春ダム周辺の施設は、年間約32万人の地域住民や観光客に利用されています。三春ダムでは、今後も地域と一体となり、ダム周辺の利活用を促進したいと考えております。

# 三春ダムの役割



# 三春ダムの歩み



さくら湖  
**20th**  
三春ダムはおかげさまで20周年  
(2018年)

# 人に伝えたい風景

春には咲き誇る桜、初夏には新緑、秋には紅葉、冬には薄氷のダム湖など、三春ダム周辺では美しい四季を体感できます。



# 豊かな自然と生物のすみか



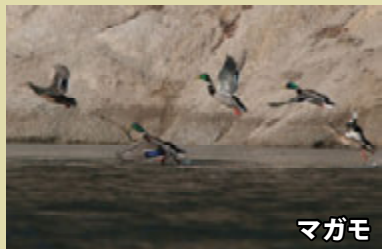
アカネズミ



ホンダタヌキ



ホンドキツネ



マガモ



カルガモ



ヤマセミ



カワセミ



カナヘビ



トウキョウダルマガエル  
(環境省レッドリスト：準絶滅危惧)



シュレーゲルアオガエル



キンブナ  
(環境省レッドリスト：絶滅危惧II類)



ホトケドジョウ  
(環境省レッドリスト：絶滅危惧IB類)



ヤマメ  
(環境省レッドリスト：準絶滅危惧)



カザグルマ  
(環境省レッドリスト：準絶滅危惧)

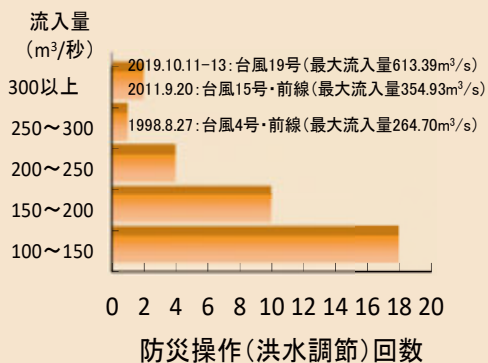


ミクリ  
(環境省レッドリスト：準絶滅危惧)

# 洪水から 人命・財産を守る

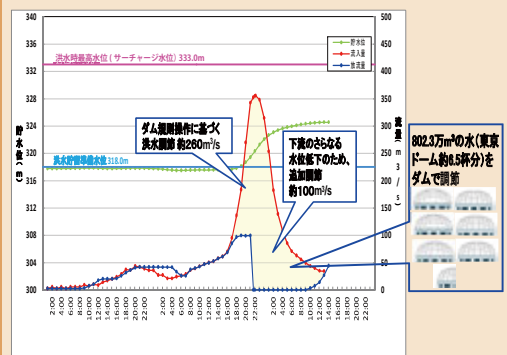
防災操作(洪水調節)で、大滝根川・阿武隈川沿川の洪水被害を軽減。

三春ダムでは、管理開始(1998年)から2020年の23年間に、計35回の防災操作(洪水調節)を実施し、大滝根川、阿武隈川沿川の洪水被害の軽減に努めています。



※防災操作(洪水調節)回数: ダム湖に100m³/秒以上の水が流入し、ダムで下流へ流す水の量を調整した回数。

23年間で防災操作(洪水調節)35回



※特別防災操作: 下流河川の水位上昇を抑えるため、降雨予測結果を確認のうえダムに貯める水の量を増やし、できるだけダムから水を流さないようにする操作。

2011年9月20日洪水での特別防災操作



# 流木の流下を阻止

**ダムで流木を捕え、大滝根川・阿武隈川沿川の被害を軽減。**

三春ダムは、防災操作(洪水調節)と併せ、流木の下流への流下も防ぎ、下流の被害を低減しています。年間 207m<sup>3</sup>(平成 25 年～平成 29 年の平均)、丸太に換算すると年間約 2,070 本相当の流木を貯水池から回収しています。



流れてきた流木・ゴミ



流木・ゴミの分別

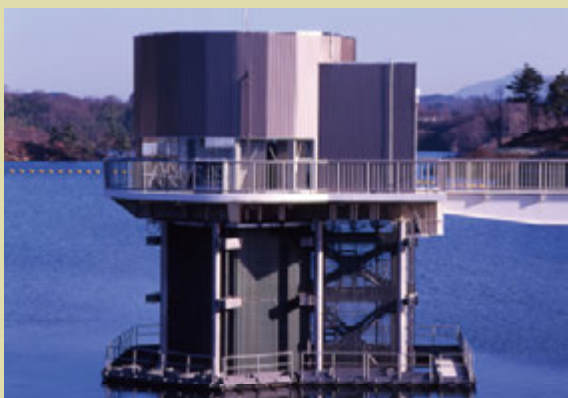
# 1年間に東京ドーム 約10杯分の水を供給

三春ダムからの水で地域住民の生活や産業の発展に貢献。

さくら湖からは、年間約1千2百万 m<sup>3</sup>(東京ドーム約10杯分)の水を、農業用水として補給、上水道・工業用水として供給し、地域住民の生活や産業の発展にも寄与しています。上水道は、三春町人口の85%、田村市人口の59%、郡山市人口の16%の計9万人の方々に使用されています。



荒井浄水場(郡山市)



郡山市取水塔



# 安全 安心な水を供給



水質調査や日々のモニタリングで、安全・安心な水を供給。

さくら湖の水は、地域の上水道・農業用水・工業用水に供給されるとともに、ダムの下流にも流しています。三春ダムでは、安全・安心な水を供給するとともに下流に流すため、水質を日々調べています。



ダム管理所での水質分析



さくら湖の巡視

# ダムの水を利用して発電



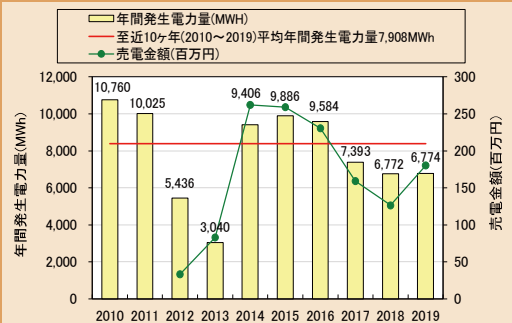
※河川では、下流方向を見て右側を右岸、左側を左岸と呼びます。

**発電した電力はダム管理所の様々な設備で使用し、余った電力は売電。**

三春ダムの毎年の発生電力量は 7,908MWh / 年で(2010年～2019年の平均)、約 1,500 世帯の使用電力量に相当します。これは、三春町の世帯数約 6,400 世帯(2019年現在)の約 23%の電力に相当します。



水力発電機



注) H24,H25 は発電施設の点検実施のため、発生電力量が少なくなっています。

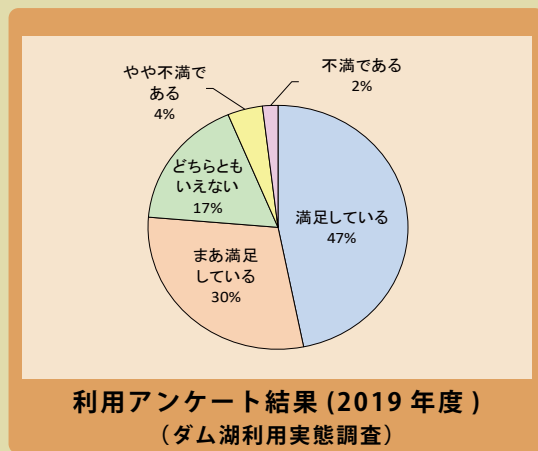
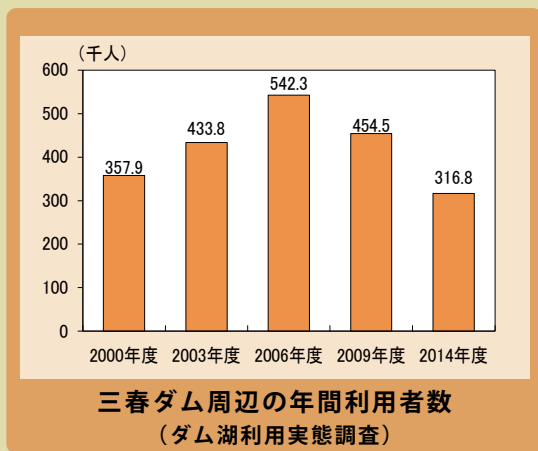
年間発生電力

# 年間32万人が訪れるダム



**さくら湖周辺には、自然に触れ合い、自然を学べる施設が多数。**

さくら湖周辺には、三春滝桜、三春の里田園生活館、さくら湖自然観察ステーション、三春ダム資料館、野外劇場、水生生物観察園など、自然と触れ合い、自然を学べる多数の施設があり、年間約32万人が訪れています。アンケート結果では、三春ダム周辺を利用した方の約8割が満足感を得ています。



# 自然を学び、触れ合える



**さくら湖及び周辺には、学び、触れ合える自然がある。**

さくら湖及び周辺には、学び、触れ合える自然が多くあります。毎年7月下旬の「森と湖に親しむ旬間」には、「さくら湖自然教室」を開催し、水上探検、昆虫観察、水生生物・植物観察の3コースで、この自然に気軽に触れ合うこともできます。



昆虫観察(さくら湖自然教室)



水上探検(さくら湖自然教室)



水生生物観察(小学生総合学習)



野鳥観察(自然観察ステーション企画)

# 地域と協働で環境保全



地域の関係者とともに、さくら湖自然環境フォーラムを毎年開催。

さくら湖では、さくら湖周辺の環境保全を進めるため、地域の関係者、小中学生、さくら湖をフィールドとした研究者が一体となり、「さくら湖自然環境フォーラム」を毎年開催しています。



小学生の研究発表



外来魚の解剖



昆虫調査用具の説明



# 地域に開かれたダム



ダムの利活用を推進し、地域の活性化を図るために、「地域に開かれたダム」として、ダムを積極的に開放。

三春ダムは、平成5年4月12日に、「地域に開かれたダム」に指定され、地域の活性化を図るためにダムを地域に積極的に開放し、イベントも多数開催されています。近年は、各種のイベントで、三春ダム周辺に約4千人が訪れています。



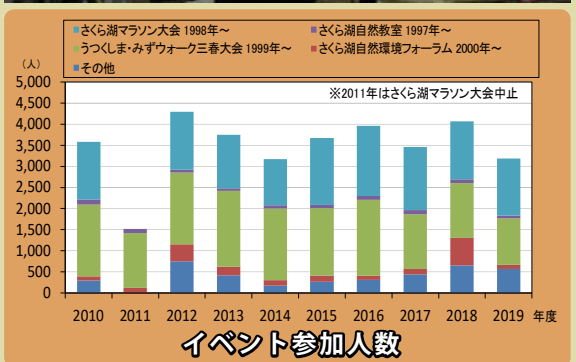
カブ主総会



ダム堤体内部見学



さくら湖マラソン大会

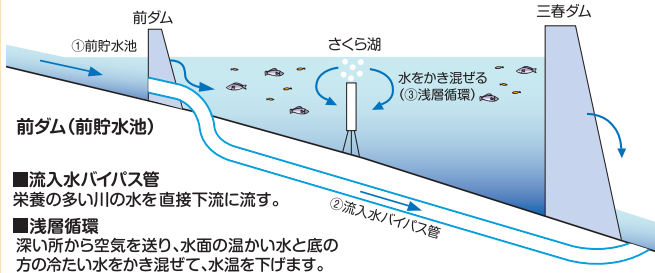


# 良好な水質の維持



上水道や農業用水にも利用される「さくら湖」の水質を様々な方法で保全。

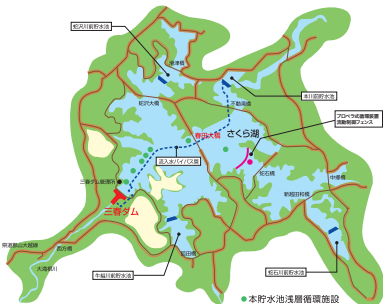
三春ダムは、管理開始の平成 10 年から、水質保全対策として流入水バイパス(さくら湖に流入する栄養塩類等を下流へ流す)、浅層循環施設(さくら湖の水をかき混ぜて植物プランクトンの発生を抑制)等の運用を行っています。これらについては、専門家の意見も踏まえて評価を毎年行い、運用方法の見直し等により効果的な対策の検討を進めています。



様々な水質保全対策



浅層循環の稼働状況(水のかき混ぜ)



水質保全対策施設の設置場所



専門家による水質検討会

# ダム下流の環境保全



## リフレッシュ放流で、ダム下流河川の景観や環境を保全。

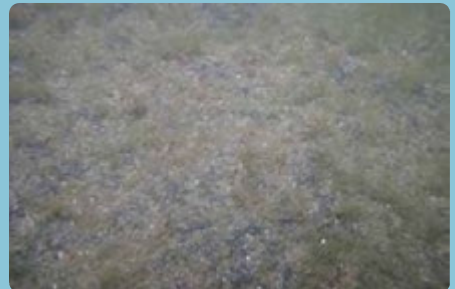
三春ダムでは、ダム下流河川の景観や環境保全を目的に、6～10月にかけて、リフレッシュ放流（約  $20\text{m}^3/\text{秒}$  の小規模な出水程度の水をダムより流す）を実施しています。リフレッシュ放流では、ダム下流河川のよどみの解消、石に付着した藻類の剥離、魚類の産卵場の回復といった効果を確認しています。

### 平常時



石の表面に繁茂した藻類

### リフレッシュ放流時



放流で藻類量が減少





# 動植物の保全

**ダム建設時から現在に至るまで、動植物の変化を調査。**

三春ダムでは、ダム湖及びその周辺の動植物を保全するために、動植物の種類や生息・生育環境の変化を、「河川水辺の国勢調査」等の調査で、ダム完成前から継続的に調査しています。

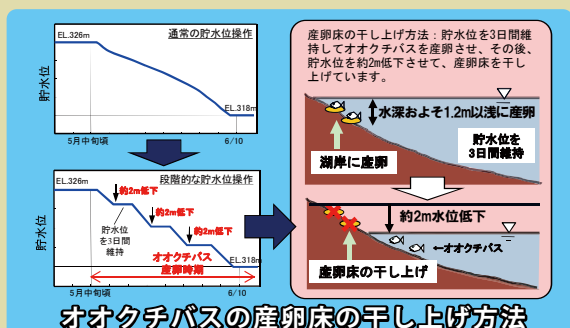




# 外来魚から在来魚を守る

**貯水池の水位操作を工夫して外来魚の繁殖を抑制。**

三春ダムでは、完成直後から貯水池で外来魚が増加し、在来魚への影響が危惧されています。このため、2008年から、貯水池の水位操作を工夫し、オオクチバス・ブルーギルの産卵床の干し上げや、電気ショッカー船での外来魚捕獲（水中に電気を流し一瞬気絶させて捕獲）による干し上げ効果の検証を行っています。





# 震災からの復興を支援

ダム湖周辺に、応急仮設住宅用地や各種用水補給のための散水車基地を提供。

東日本大震災(2011年)で、三春ダム近傍では震度6弱を観測しましたが、ダム本体及びダム管理施設に影響を及ぼす被害はありませんでした。三春ダムでは、東日本大震災による被災に対し、各種用水補給のための散水車の基地として敷地を提供したほか、ダム湖周辺を応急仮設住宅用地として提供しました。

**三春ダム周辺の応急仮設住宅**

尾山多目的運動広場(尾崎村)  
 仮設住宅182戸

泉原沢村仮設地(尾崎村)  
 仮設住宅27戸

長久保地敷(宮内町)  
 仮設住宅90戸

泉原生活館(宮内町)  
 仮設住宅18戸

もみじ山公園(宮内町)  
 仮設住宅34戸

福田池水公園(宮内町)  
 仮設住宅95戸

**赤字**：三春ダム所有区域に建設  
**青字**：町有地等に建設

# みんなで使おう、三春ダム！



九しらの里で、地域とともに。



## 三春ダム

国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4  
TEL. 0247-62-3145 FAX. 0247-62-3170

三春ダムwebサイト

リアルタイム情報配信中!

<http://www.thr.mlit.go.jp/miharu/>



※リアルタイム情報:ダムの貯水位や流入・放流量などの情報が閲覧できます。